



〒975-0031
 福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
 TEL:(0244)26-1314
 FAX(0244)26-1318
 E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

地域でつながる家庭教育応援事業 (2) 家庭教育応援リーダー育成事業 **家庭教育支援者研修会相双地区研修**

- 日 時：令和5年2月1日(水) 13:30～16:15
- 会 場：福島県環境創造センター 環境放射線センター (南相馬市原町区萱浜字巢掛場 45-169)
- 内 容：ペアレント・プログラムを学びましょう！
 「児童生徒や保護者の支援に生かす ペアレント・プログラムのポイント」
- 講 師：ふくしま子どもの心のケアセンター 専門員 本田 智春 氏 (精神保健福祉士・公認心理師)

【研修のまとめ】

- 子どもの自己肯定感を育成するために、保護者（子どもに関わる支援者も）が子どもの「よい行動」を把握し褒めることで、さらにその「よい行動」を強化する『ペアレント・プログラム』の有効性を、演習を交えながら学ぶことができました。
- 「ペアレント・プログラム」のポイント！
 - ① 行動で考える ・目に見える行動に注目、具体的にとらえる。・「いいところ」「努力しているところ」「困ったところ」に、行動を分ける。「いいところ」は、人と比べない。「やって当然」はNGワード。
 - ② 適応行動に注目しほめて対応する・適応行動：それをやることで困ることを防げる行動。「困ったところ」の中にも細かく分けると、少しはできている行動が隠れている。そこを見つけてほめることで、その行動を強化する。
- 当研修会の情報交換の際、子どもの課題解決のために、保護者や学校から子ども支援の専門機関へつながるためのノウハウを知りたいという質問をいただきました。これは、これからの家庭教育の在り方、関係機関の支援体制について、問われていると考えます。今後の研修内容に活かしたいと思います。

研修の感想

- 授業を普段当たり前のことだと思っている中に、たくさんほめるポイントがあるのだと、実際に書き出し、話を聞いて気付くことができました。
- 園内研修の中に、子どものいいところ、努力しているところ、困ったところを書き出す研修を取り入れていき、子どもをほめる手立てとして役立てていきたいと思っています。
- 誰でも実施できるのが心強く感じました。子どもに関わるみんながほめることで、「できること」が強化されると、子どもも大人も幸せだなあと感じました。小さいことでも当たり前のことでも、声に出して「ほめる」、書き出して「認識する」ペアレント・プログラムは素敵だなあと感じました。

